

# 睡眠時無呼吸症候群 スクリーニング検査のご案内

睡眠時無呼吸症候群とは



# 睡眠時無呼吸症候群

---

睡眠時無呼吸症候群とは、睡眠中に10秒以上の無呼吸状態を何度も繰り返す病気です。睡眠中に無呼吸状態が繰り返されることで、さまざまな合併症を引き起こすリスクがあります。一晩（約7時間の睡眠中）に無呼吸が30回以上、または1時間あたり5回以上あれば、睡眠時無呼吸症候群が疑われます。

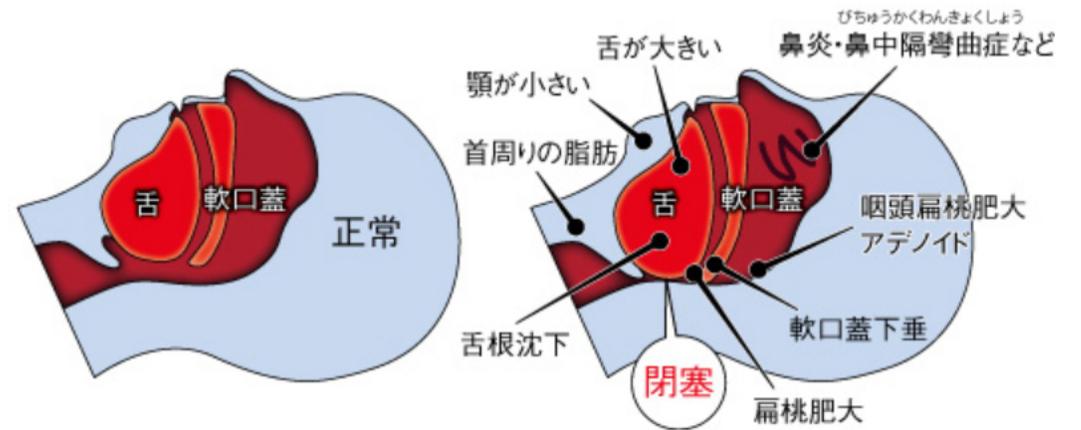
## 睡眠時無呼吸症候群のサイン

- いびきが大きいと言われる
- 睡眠中に呼吸が止まっていたと言われることがある
- 熟睡した感じがしない
- 朝の目覚めがスッキリしていない
- 昼間いつも眠い
- 寝ているときによくトイレに行く
- 肥満の傾向がある



# 睡眠時無呼吸症候群の要因

寝ているときに呼吸が止まる主な原因は、空気の通り道である上気道が狭くなることに起因しています。首回りの脂肪の沈着以外にも、扁桃肥大、舌が大きい、鼻炎・鼻中隔湾曲症といった鼻の病気が原因の場合もあります。



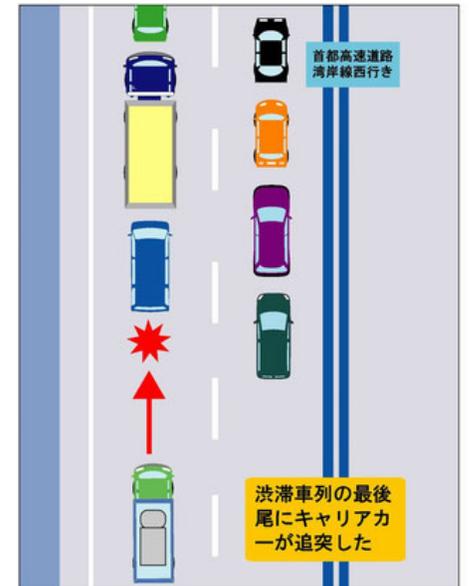
睡眠中の無呼吸により、日中の眠気、起床時の頭痛などが認められることがあります。日中の眠気は作業効率の低下を招くだけでなく、居眠り運転事故などの労働災害を招く要因にもなり、注意が必要です。

# 睡眠時無呼吸症候群のリスク



睡眠時無呼吸症候群の名前が一般的にも注目されたのは、2003年（平成15年）2月に山陽新幹線の運転士による居眠り運転（所定の位置より約100m手前で止まり、3両ほどがホームからはみ出したまま停車）の発覚から。のちの調査で、当該運転士は眠りが浅いなど数年前から睡眠時無呼吸症候群に該当する自覚症状があったことが分かっています。

2012年（平成24年）7月。首都高湾岸線で、渋滞で停止していた車列にトラックが追突し、ワゴン車に乗車していた4人が死亡、2人が重傷を負う事故が発生。その後の調査では、事業所では無理な運行指示の証拠はなく、地検の依頼で医師が診断したところ、ドライバーに睡眠時無呼吸症候群の症状が確認されました。



スクリーニング検査のご案内



# 睡眠時無呼吸症候群 スクリーニング検査のご案内

---

スクリーニング検査は、簡易診断検査の一つとして利用されています。ご自宅で検査できる機器を、当院と連携する医療機器メーカーから貸出すことで、病院へ出向くことなく、検査をご自宅で簡単に行うことができます。

検査装置は、センサー部分を指先に装着して眠るだけなので、圧迫感を感じることはほとんどありません。睡眠中のデータを解析することで、睡眠時無呼吸症候群のリスクが判定することができます。



# 使用する検査装置と検査費用



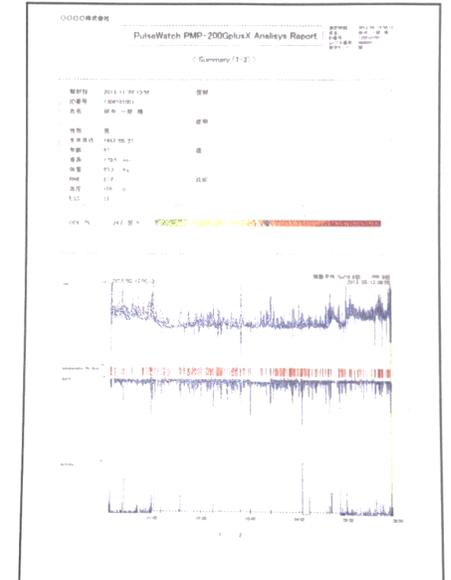
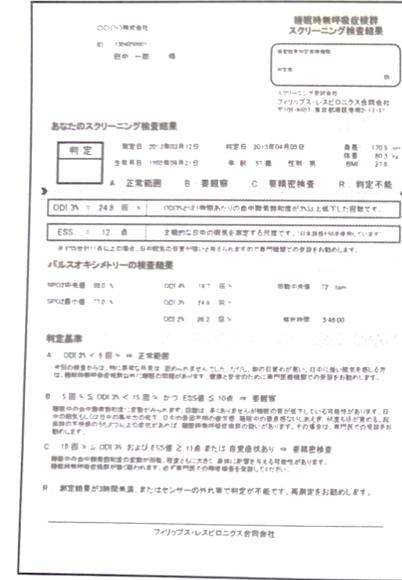
フィリップス製 ウォッチパット ユニファイド

## 【特徴】

- ◆ 装着操作が簡単（2つのセンサーを取り付けるだけ）
- ◆ 簡易検査なので診断がつけられ、AHI（無呼吸低呼吸指数）の測定が可能

\* AHI40以上の場合は、すぐにCPAPの治療が開始できます  
40未満の場合は、精密検査後、必要な治療を開始します

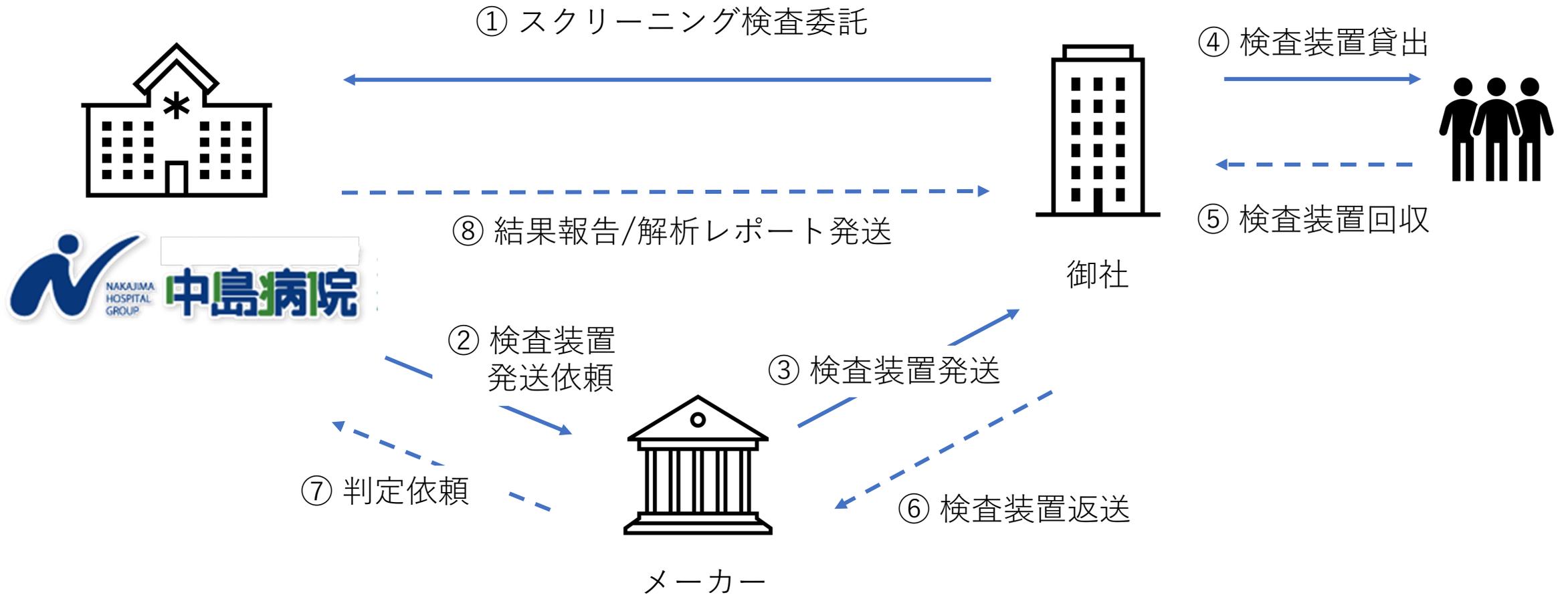
- ◆ 酸素飽和度（SPO2）だけでなく、覚醒/睡眠ステージの判断や脈拍、いびきのレベルの測定ができます



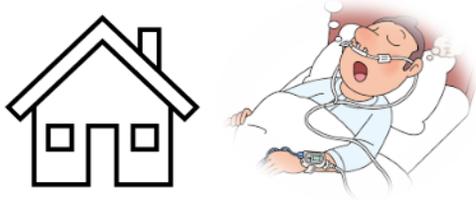
\* 解析レポートはイメージです

検査費用は、機器の貸出・解析レポートの作成を含め、お一人様 ¥7,580-の費用がかかります

# スクリーニング検査の流れ



# 検査後の治療の流れ



スクリーニング検査で、AHI（無呼吸低呼吸指数）が40以上の方は、診察後すぐにCPAP治療が開始できます。

それ以外の方は、必要に応じてNTT東日本病院様で一泊精密検査を受けて頂いた後、必要な治療を当院でおこなっていきます。



診察

検査入院日は受診日当日に決定します。



一泊入院検査



NTT東日本伊豆病院様

軽症・中等症



歯科と連携しマウスピース等の調整

中等症・重症



CPAP治療



国内の睡眠時無呼吸症候群の潜在患者数は500万人以上とも言われていますが、CPAP治療を受けている人は約40万人程度に留まっています。

睡眠時無呼吸症候群を要因とした運転中の事故の報告も近年増えており、入職時のスクリーニング検査、あるいは3年～5年毎の定期検査を行うことが有効です。



伊豆市松ヶ瀬 7 5

☎ 0558-87-0333